

知ってとくとく バジルの土壌病害2

 **はじめに** バジルの主要な土壌病害、メボウキ萎凋病とメボウキ菌核病を紹介します。
豆知識！ メボウキはバジルの和名です。

メボウキ菌核病とは

メボウキ菌核病

病原菌： *Sclerotinia sclerotiorum* (Lib.) de Bary ries

病徴： 茎葉の黒褐変、萎凋、枯死、白いカビ、菌核

感染： 土壌伝染



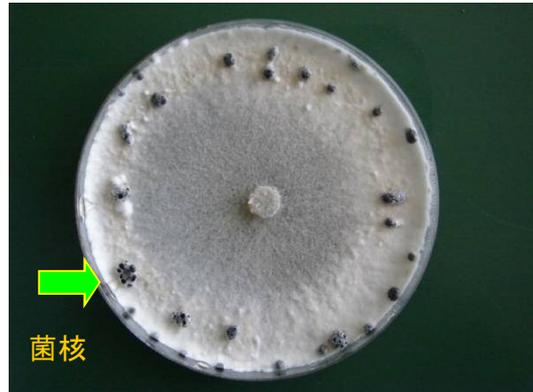
病原菌は 菌核と菌糸の状態では被害植物とその残さに付着して、次年度の伝染源となる。菌核からは、春または秋に子盤が発生し、この子盤から子盤のう胞子が飛散して伝染する。子盤のう胞子から飛散した子盤のう胞子は、湿度の高い部分で発芽し、老化した部分や傷口などから浸入し、病気をおこす。

被害植物には、最初白い綿状のかび(菌糸)が生え、その後菌糸がからみ合って菌糸塊となり、更に成熟して黒色のネズミの糞に似た菌核となる。

病原菌の活動は、20℃前後で最も旺盛となり、30℃以上の高温では休止する。



菌核病により枯れたバジル。最初は白い菌糸の塊ができ、後に黒いネズミの糞状の菌核となる



PDA培地上の *Sclerotinia sclerotiorum* (Lib.) de Bary ries



菌核病菌を接種したバジル



菌核から生えたきのこ(子のう盤)

きのこの傘の直径は3mm～5mm、非常に小さい
きのこから子のう胞子が飛び、感染源となる



子のう胞子と胞子

他の作物にもうつります

菌核病はいろいろな作物にうつります。
アブラナ科野菜、ナス科野菜など、64
科361種以上の植物をおかすといわれ
ています。

右写真はカリフラワーに感染した様子



防除対策

- ◆ 換気につとめ、湿度が高くならないように管理しましょう。
- ◆ 発病株は早めに抜き取り、土中深くに埋めるか、圃場外に持ち出して適切に処分しましょう。
- ◆ アブラナ科野菜やナス科野菜など他の作物にも感染します。輪作する場合も、菌核病が発生する可能性があります。注意しましょう。



あいち病害虫情報

発生予察情報の提供 病害虫防除室では、毎月、月初めに**病害虫発生予報**、中旬に**最新情報**を出しています。防除の参考にしてください。 E-mail配信ご希望の方は下記のアドレスまでご連絡ください。また、ウェブページ**あいち病害虫情報**もぜひご覧ください。

●お問い合わせについて

愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫研究室 病害虫防除室

所在地:480-1193 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-1

電話 :0561-62-0085(内線472) FAX :0561-63-7820

E-mail: byogaichu@pref.aichi.lg.jp

<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/>